

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安住

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 06 月 03 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	前年度は、年4回、参加委員の都合が付かず実施したが、年6回と義務づけられているので、実施し、会議の内容をマンネリ化しないようにしていく。	行政担当者の出席と、新しい委員を増員し、委員同士の交流と信頼関係を築き、協力体制を確立し、会議がホーム運営に反映されるように努力していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間の非常災害時に、夜勤者一人で、9人の利用者を救出することの大変さを職員一人ひとりが理解して、常に、災害時の救出体制をシュミレーションし、利用者が安心して、安全に非難できる体制を確立していく。	管理者、ケアマネ、事務長が、ホームに駆けつける時間が、5分以内のところに住んでいるので、夜勤者との救助方法の確立や、見守り体制の方法等、マニュアル化して、いざという時に冷静に行動できる体制を構築していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。